

日本ビジネス実務学会 第30回記念全国大会案内

(第2号通信)

大会プログラムと参加申し込みのご案内

先月の東日本大震災で甚大な被害を受けられました、東北・関東地域の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早いご復興をお祈りいたしております。

さて、来る6月に開催されます全国大会には、会員の皆様から多数の発表のお申込みをいただき、充実したプログラムを計画することができました。本大会が皆様の研究・研鑽・交流の場となり、ビジネス実務教育・研究のさらなる発展に資することを願っております。

兵庫県西宮市で開催されます全国大会に、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

2011年4月8日



大手前大学 アートセンター(安藤忠雄氏設計)

日本ビジネス実務学会 第30回記念全国大会

大会実行委員長 油谷 純子

(目白大学短期大学部)

大会実行副委員長 磯林 征一

(園田学園女子大学)

大会実行副委員長 仁平 章子

(四條畷学園短期大学)

事務局長 加藤 晴美

(プール学院大学短期大学部)

同封印刷物は以下のとおりです。最初にご確認ください。

- (1) 日本ビジネス実務学会第30回記念全国大会案内 第2号通信 (本状)
- (2) 大会プログラム (1枚)
- (3) 参加費ほか郵便振替用紙 (1枚)
- (4) 学会総会案内 (1枚)
- (5) 学会総会委任状はがき (1枚)

第 30 回記念全国大会 統一テーマ

「ビジネス実務研究の現状と課題－学習者中心のビジネス実務教育をめざして－」

本学会は、1981 年に日本秘書学会として発足し、1996 年に日本ビジネス実務学会が引き継ぎさらに発展する形で、本年第 30 回大会を迎えます。

今日、変化する社会の中で、日本の教育のあり方が問い直されています。周知のとおり、今年度の大学・短期大学設置基準改正により、平成 23 年度から社会的・職業的自立に関する教育をカリキュラムの中に組み込むことが義務化されました。そのため、ビジネス実務教育への期待が、より一層高まってきたといえます。

そこで、今回の全国大会は第 30 回という節目でもあり、これまでの研究成果を振り返り、蓄積された研究を検証し、今後の教育の質の向上と、新たな視点によるビジネス実務教育の再構築を目指すテーマを設定いたしました。全国の学会員が集うこの大会で、今後の新たな研究テーマを模索し、引き続き実践的な教育プログラムの開発・実施を図るとともに、学生への多様な支援を推進していくことを皆さまとともに議論し、学会のますますの発展を願いたいと存じます。

1 日目のパネルディスカッションでは「研究のあゆみと成果、そして今後」のタイトルを掲げ、これまでの研究成果を振り返り、学会員がその成果を共有し、研究・教育に活用し、今後の活発な研究につながることを期待しています。

2 日目の記念講演では「グローバル人材育成－企業のアジア戦略と人材育成－」と題して、企業の人材募集がアジアの人材にシフトしつつある現状について、パナソニック電工創研株式会社前社長の櫻井章司氏にお話し頂きます。

また、今大会においては、口頭発表による学会奨励賞を、試みとして新たに設置しましたので、今後の研究の研鑽と学会の活性化につながることを存じます。

さらに、これまでの教員によるプレゼンテーション大会を基盤に、今回は学習者主体の教育の試みとして、学生によるプレゼンテーション大会を実施します。

皆さま方の積極的なご参加を心からお待ちいたしております。



大会実行委員長
油谷 純子

大手前大学 メディアライブラリー CELL
(2009 年度日本図書館協会建築賞受賞)

■【記念企画】 パネルディスカッション「研究のあゆみと成果、そして今後」

－6月4日(土)10:50～12:20－

第30回の全国大会開催を記念し、本学会における研究の歩みを辿り今後の方向を探ることを目的に、パネルディスカッションを実施いたします。パネリストには、これまでの『ビジネス実務論集』の編集委員長3名にご担当いただきます。

日本秘書学会から引き継いだ論文集は、1997年3月発行のNo.15より『ビジネス実務論集』と題され、本年3月にNo.29を発行する運びです。『ビジネス実務論集 No.15』は、冒頭で森脇道子先生の論文『「ビジネス実務」研究へのアプローチ』に方向づけられて始まり、No.28(2010.3月発行)までに118編の論文・報告・研究ノート・特別寄稿（No.22よりは理論・調査研究と教育開発研究の2分類）が掲載されています。

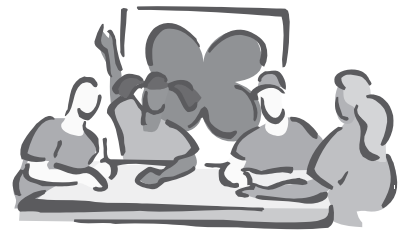
第30回記念大会を機に、これらの研究成果をあらかじめ研究対象領域に分類し、パネルディスカッションが行われます。パネルディスカッションによって浮かび上がった課題が、学会員が今回の全国大会のテーマでもある学習者中心のビジネス実務教育をめざすために、有益な指針となることを期待しています。

パネリスト： 元編集委員長 佃 昌道 氏

前編集委員長 中村 健壽 氏

編集委員長 坪井 明彦 氏

コーディネーター： 研究推進委員長 池内 健治 氏



■【記念企画】 全国学生プレゼンテーション大会

ビジネス実務教育の成果として、【記念企画】「全国学生プレゼンテーション大会」を開催します。各ブロックから選抜された6名の学生が、教育の成果としてプレゼンテーション力を競います。各ブロックの代表は次の方たちです。

ブロック	出場学生氏名	所属
北海道ブロック	向 未悠 さん	札幌国際大学
関東・東北ブロック	松崎 かごめ さん	自由が丘産能短期大学
中部ブロック	金安 真奈 さん	金城大学短期大学部
近畿ブロック	高森 美沙 さん	大手前大学
中国・四国ブロック	横山 春奈 さん	広島女学院大学
九州・沖縄ブロック	村田 彩香 さん	筑紫女学園大学短期大学部



■ 記念講演 「グローバル人材育成 ー企業のアジア戦略と人材育成ー」

講師： パナソニック電工創研株式会社 前社長 櫻井章司 氏

ー6月5日(日)10:40～11:40ー

企業の人材募集は、日本人新卒からアジアの人材の確保にシフトしてきています。これは日本企業の目指すべき市場はアジア市場であることと大いに関係があると考えられます。

そこで、松下電工株式会社で約8年間、中国における照明事業の総責任者としてご活躍になり、中国市場向け戦略商品を開発し中国照明業界の発展に寄与されたご経験をお持ちの講師を招き、新卒の学生が習得すべき能力、態度、資質についてお話しいたします。



■ ご案内

1. 大会日程 ※詳細は大会プログラムをご覧ください。

・2011年6月4日(土)・5日(日)

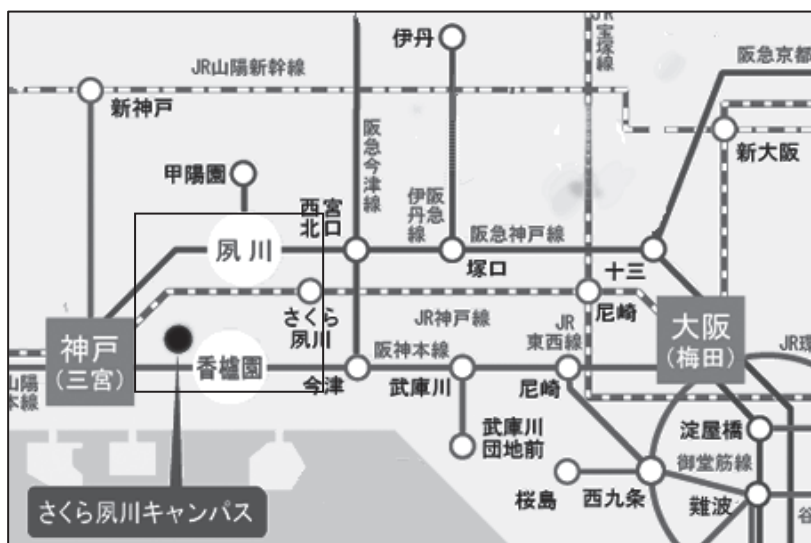
4日(土) 9:50-19:45	5日(日) 9:10-12:20
<ul style="list-style-type: none"> ・2011年度総会① ・30回記念パネルディスカッション 「研究のあゆみと成果、そして今後」 ・2011年度総会② ・2010年度 JAUCB 受託研究報告 ・2010年度助成研究報告 ・研究発表 ・懇親会 	<ul style="list-style-type: none"> ・記念企画 全国学生プレゼンテーション大会 ・記念講演 「グローバル人材育成 ー企業のアジア戦略と人材育成ー」 講師：パナソニック電工創研株式会社 前社長 櫻井章司 氏 ・表彰式 (学会奨励賞、学生プレゼンテーション大会)

2. 会場

・大手前大学 さくら夙川キャンパス 〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町 6-42

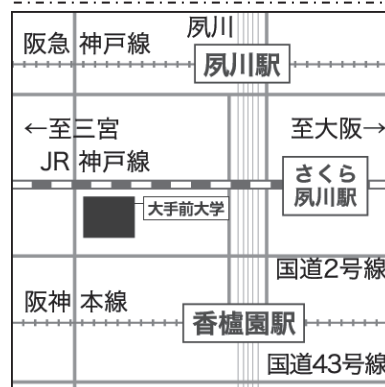
<http://www.otemae.ac.jp/about/access/traffic.html>

【会場までの交通手段】

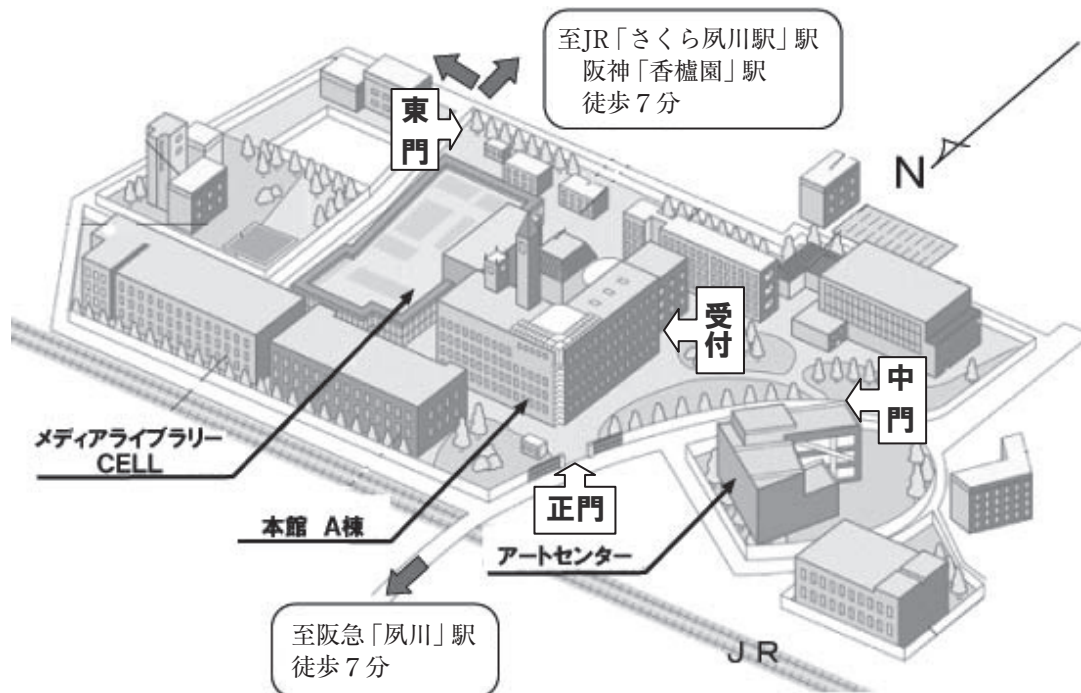


※最寄り駅から各徒歩7分

- ・JR さくら夙川駅から
- ・阪急夙川駅から
- ・阪神香櫛園駅から



【大手前大学 キャンパスマップ】



【近隣の宿泊先ご案内】

- ・ ノホテル甲子園 <http://www.novotelkoshien.com/index.php>
- ・ ホテル竹園芦屋 <http://www.takezono.co.jp/>
- ・ ポップインアミニング (尼崎) <http://www.hopin.com/>
- ※宿泊先予約サイト (ご参考) じゃらん net <http://www.jalan.net/>
- ※ビジネスパック予約 (ご参考) http://www.travel.co.jp/senmon/biz/train_osk.html

3. 参加費申込

(1) 申込方法

- ・ 同封の郵便振替用紙に必要事項を記載の上、ご送金ください。
※ご送金をもって、参加申込みに代えます。
- ・ **締切日 5月9日(月)**

- (2) 大会参加費： 正会員 7,000円 (当日 8,000円) ※名誉会員の参加費は不要です。
ビジター 4,000円 (正会員の紹介が必要です)
※ビジターの方は振替用紙の通信欄に紹介者のお名前をご記入ください
- 学生会員 2,000円
非会員 8,000円
- 懇親会参加費： 5,000円
昼食代： 1,000円

(3) 留意事項

- ・ 郵便振替用紙の控えを、参加費等の領収書とさせていただきます。
- ・ 申込み後の参加費等の返済には応じかねますので、ご注意ください。
- ・ 要旨集のみご購入の場合は、振替用紙に必要事項を記入の上ご送金ください。
(1部 2,000円)。大会終了後にお送りいたします。

4. 研究発表者へのお願い

- ・発表レジュメはあらかじめ必要部数（50部程度）を印刷の上、お持ちください。
※当日、会場宛にレジュメなどを送付しないようお願いいたします。
- ・発表時には Windows + Microsoft Office PowerPoint 2007 がインストールされた PC をお使いいただきます。2007 版で動作するよう資料の作成をお願いいたします。
- ・PowerPoint のデータは 5 月 20 日（金）までに JSABS30pre@gmail.com にメール添付でご提出ください。動作確認をいたします。当日は必ず最終データを USB メモリー等でお持ちください。

5. 「ビジネス実務学会奨励賞」について

今回の全国大会では全研究発表の中から優れた発表を選定し、ビジネス実務学会奨励賞（以下「奨励賞」）を表彰し、副賞を贈呈いたします。奨励賞は、学会の研究活動を促進することを目的とし、全国大会において学会の研究活動を活性化させる研究発表を表彰するものです。原則として理事ならびに評議員が各発表会場の座長・副座長を務め、座長・副座長が協議した上で、各会場から原則として 1 名（グループ可）を選出します。

6. 全国学生プレゼンテーション大会審査員

審査委員長 平成 23～24 年度 学会会長
審査委員 油谷 純子（大会実行委員長）
福井 有（前学会会長）
中江 正弘（紀伊國屋書店） 他マスコミ関係の方 1 名を予定

7. 全国学生プレゼンテーション大会参加者ご指導の先生方へのお願い

- ・発表前日（6 月 4 日）16:30～17:30 に発表会場（A44 教室）において機器を使ったリハーサルを行います。USB メモリー等にて最終データをご持参の上、必ずご参加ください。
- ・発表には Windows + Microsoft Office PowerPoint 2007 および 2010 がインストールされた PC をお使いいただきます。なお、レーザーポインターが付いた、パワーポイントの遠隔操作機器も用意しています。
- ・PowerPoint のデータは 5 月 20 日（金）までに JSABS30stdpre@gmail.com にメール添付でご提出ください。動作確認をいたします。（ファイル名には「ブロック名_発表者氏名」とご記入ください。）
- ・補助資料の配付が必要な場合は、（A4 版 1 枚のみ）170 枚をご用意の上、5 月 20 日（金）までに担当の福井愛美宛に郵送または宅配でお送りください。
〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町 6-42 大手前大学 福井愛美宛

8. 各種問い合わせ（お問い合わせ・ご連絡は、原則として e-mail でお願いいたします。）

（1）研究発表申込、研究発表要旨集原稿のご提出先

担当者： 日本ビジネス実務学会 第 30 回記念全国大会 研究発表担当 荻野正美
連絡先： karino@poole.ac.jp
〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台 4-5-1 プール学院大学短期大学部内
研究室直通 TEL: 072-292-7265(内線 412) FAX: 072-293-5525 (代)

（2）大会全般についてのお問い合わせ

担当者： 日本ビジネス実務学会 第 30 回記念全国大会 事務局長 加藤晴美
連絡先： kato@poole.ac.jp
〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台 4-5-1 プール学院大学短期大学部内
研究室直通 TEL: 072-292-7265(内線 440) FAX: 072-293-5525 (代)